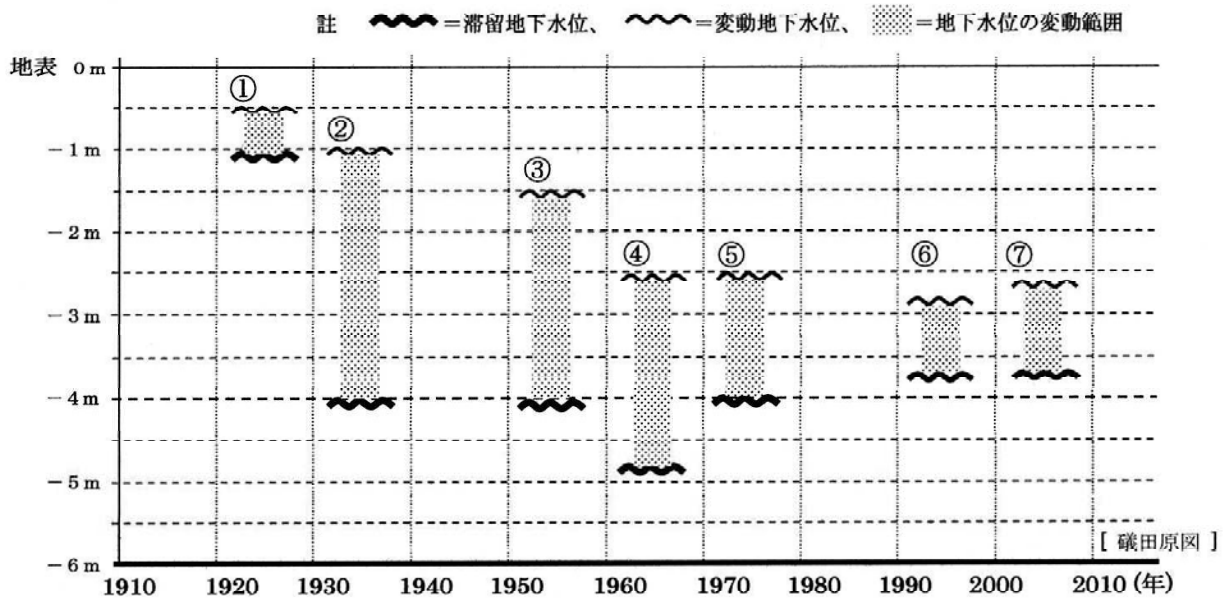


# 1 田島ヶ原サクラソウ自生地の水条件（水環境）

2010年10月22日

## (1) 特別天然記念物田島ヶ原サクラソウ自生地に於ける地下水位の変動



- ①：中野治房 昭和 19 年 2 月 30 日 草原の研究 岩波書店 東京、その他の資料による  
 1927 年 5 月 9 日 オギ・ノカラマツ基群叢 地下水位約 110 cm  
 1927 年 11 月 4 日 オギ・ノカラマツ基群叢 地下水位約 130 cm  
 1935 年 5 月 オギ・サクラソウ基群叢 地下水位約 100 cm
- ②：1930 年の横堤築造と、鴨川悪水（現鴨川）の開削によって、指定地の滞留地下水は漏出した。当時の滞留地下水流出面からみて、滞留地下水水位は-4m程度、また、周辺に耕作地や低湿地の存在する自然環境であったことから、流動地下水水位は-1m程度であったと推定される。
- ③：1955 年代に指定地の荒木田土採掘があり、流動地下水水位が-1.5m以下であることが確認された。
- ④：1961 年~1962 年に指定地を公有地化。1970 年に指定地周辺の耕作地や低湿地を埋め立て、指定地を含む 15ha を「さくらそう公園」とし、公園内に排水路およびアスファルトの舗道と駐車場を設置した。当時は国土再開発に伴う地下水の利用が盛んで、各地で地下水位の低下と、それに伴う地盤の沈下が起きていた。公園内に残されていた農業用井戸の水位は-4.8mを記録した。
- ⑤：1974 年にスプリンクラーによる散水を行うため、指定地に給水施設を設置した。その給水施設の井戸は約-4mの水位を記録した。
- ⑥：指定地に設置された荒川上流河川事務所所管の地下水位観測所に於ける 1992 年~1999 年の記録による。
- ⑦：同上の 2000 年~2009 年の記録による。